

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あぜ道

目標達成計画書

作成日: 平成 25 年 08 月 03 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	年2回の避難訓練は実施できているが、消防署の指導や参加を得て、防災訓練を実施し、夜間、夜勤者1名で、利用者全員を避難誘導できる体制を確立し、近隣に住む職員や地域住民の協力と参加を得て実施していく。	避難誘導開始からご利用者全員を救出する時間を計測する。計測時間や反省を次回の訓練時の目標にあげ、それを反復して行く事で全職員が冷静に、安全で迅速に避難誘導できるようにする。	12ヶ月
2		地域の拠点作りを行う	認知症高齢者が増加しており、認知症対応型の事業所として、地域への情報発信や気軽に立ち寄ってもらえる事業所作りを行う。	介護教室を開催し、今以上に地域住民の認知症についての理解を深めてもらう。また、広報誌を近隣の商店等に掲示してもらいあぜ道を知ってもらえる機会を増やしていく。小学校との交流も今後継続して行い、児童たちからでも気軽に立ち寄れる場所作りを行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。